

(櫻井の長瀬谷粕) 院議衆の目七廿

答書ならざる筈であるが、谷田
五郎中若尾塙八（中正）
は、答文抵牾のため参内中として
撥手盛んに起る次ぎに

の後任は貴族院議員菅原通

あり流鏝としても現存一日
監理の減収にて本年中の減収
十萬圓を等閑とする今日之

文化大聯盟の題下に七月二
山を基盤として漸次北上約
盟を以て全盟の巡視網を

大正拾年
價銀不貲
拾貳月貳
拾貳月貳

割額ニヨリ	治八年拾貳	大正拾九年	圓各社價ニ
諸夫、同道同	河野元七、在	事由許可、月	右大正拾參年

地



地震で壊れた宮城石垣の修繕 昨秋の大震災で宮城の石垣が大破したため、修理を始めて、この程度に修復された。

米國に日本品の影なし

諷刺繪を街の辻々に貼つて 熾烈を極むる日貨排斥

米國に日本品の影なし。諷刺繪を街の辻々に貼つて、熾烈を極むる日貨排斥。米國に日本品の影なし。諷刺繪を街の辻々に貼つて、熾烈を極むる日貨排斥。米國に日本品の影なし。諷刺繪を街の辻々に貼つて、熾烈を極むる日貨排斥。

米國記念日

在米領事受賀

米國記念日。在米領事受賀。米國記念日。在米領事受賀。米國記念日。在米領事受賀。

岡山市議員

總辭職

岡山市議員。總辭職。岡山市議員。總辭職。岡山市議員。總辭職。

田中代議士

また懲れる

田中代議士。また懲れる。田中代議士。また懲れる。田中代議士。また懲れる。

兵庫電機工業

試験結果発表

兵庫電機工業。試験結果発表。兵庫電機工業。試験結果発表。兵庫電機工業。試験結果発表。

この炎暑が数日続けば 断水時間を延ばす

現在が最大給水量

この炎暑が数日続けば、断水時間を延ばす。現在が最大給水量。この炎暑が数日続けば、断水時間を延ばす。現在が最大給水量。

米國中部オハイオ州に暴風

死傷者三千餘名 損害數百萬圓

米國中部オハイオ州に暴風。死傷者三千餘名、損害數百萬圓。米國中部オハイオ州に暴風。死傷者三千餘名、損害數百萬圓。

門標を 忘れるな

一日から實施

門標を忘れるな。一日から實施。門標を忘れるな。一日から實施。門標を忘れるな。一日から實施。

松方公また發熱

一族皆邸へ集まる

松方公また發熱。一族皆邸へ集まる。松方公また發熱。一族皆邸へ集まる。松方公また發熱。一族皆邸へ集まる。

妻を横取りされて

その腹懐きに半殺し

妻を横取りされて、その腹懐きに半殺し。妻を横取りされて、その腹懐きに半殺し。妻を横取りされて、その腹懐きに半殺し。

評判の悪い「ブー」

府當局を悩ませる

評判の悪い「ブー」。府當局を悩ませる。評判の悪い「ブー」。府當局を悩ませる。評判の悪い「ブー」。府當局を悩ませる。

不逞徒侵入

現金六百圓強奪

不逞徒侵入。現金六百圓強奪。不逞徒侵入。現金六百圓強奪。不逞徒侵入。現金六百圓強奪。

京城局電報

一日の各道別

京城局電報。一日の各道別。京城局電報。一日の各道別。京城局電報。一日の各道別。

橋上から墜落

三十九歳男

橋上から墜落。三十九歳男。橋上から墜落。三十九歳男。橋上から墜落。三十九歳男。

神戸三人殺し

兇手三人

神戸三人殺し。兇手三人。神戸三人殺し。兇手三人。神戸三人殺し。兇手三人。

運動界

全鮮女子 競技大會

運動界。全鮮女子。競技大會。運動界。全鮮女子。競技大會。運動界。全鮮女子。競技大會。

相撲場自働電話

観客の便を考慮

相撲場自働電話。観客の便を考慮。相撲場自働電話。観客の便を考慮。相撲場自働電話。観客の便を考慮。

捜索隊活躍

賊徒と衝突

捜索隊活躍。賊徒と衝突。捜索隊活躍。賊徒と衝突。捜索隊活躍。賊徒と衝突。

京福宮道路

工事中止

京福宮道路。工事中止。京福宮道路。工事中止。京福宮道路。工事中止。

運動器具店

運動器具店

運動器具店。運動器具店。運動器具店。運動器具店。運動器具店。運動器具店。

電車に負傷

府内電車

電車に負傷。府内電車。電車に負傷。府内電車。電車に負傷。府内電車。府内電車。

湯毒人

湯毒人

湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。

湯毒人

湯毒人

湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。

湯毒人

湯毒人

湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。

湯毒人

湯毒人

湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。湯毒人。

ブルトール

正しき補血強壯増進劑

強健化 病弱者の恢復と健康者の精力増進に優秀なる効果を與ふ

一 芳香美味良薬にして口に快し。
二 絶對に胃腸を害せず食欲を増進す。
三 速に吸収され血を増し肉を肥やす。

賣店 各地藥店 説明書 附

品質優良なる 雷印のかね

仕立帳帳 各種帳帳 地球美人 亀甲紗

輕便優美 志き高枕帳 ぬめぬめ帳

大坂 製造 元

肺病薬

發明者 陸軍歩兵少佐 藤本猪之吉氏

肺病患者の救済に役立つ。肺病患者の救済に役立つ。肺病患者の救済に役立つ。

肺病薬

發明者 陸軍歩兵少佐 藤本猪之吉氏

肺病患者の救済に役立つ。肺病患者の救済に役立つ。肺病患者の救済に役立つ。

—

英語時間増加
農校生の要求

人生の幸福は健康より
 健康は容顏の常用に依つて得らる
 容顏は容顏の常用に依つて得らる
 故に血液の眞價は容顏の服用によつて盛はる
 故に血液の眞價は容顏の服用によつて盛はる

貴生堂藥品店
 内 一 手 販 賣 元

醫院化贊

目丁一町浩明城京
番四二話電

施療す

得日五名老眼

内 科

小兒科

入院隨意

入院隨意

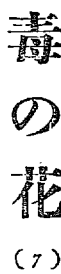
日曜 祭日

診察午前中

専門科

京城若草町
(新道橋通り)
若草町電一五五六

金井眼科醫院



入江新八作

[illegible]

對露外交

後援會は、次回は三十日開會の聲を發し、問題に關する方は外務省に備案の爲め、近日に延期となつたが、政府は大要明日にも院內閣議で決定すべしとの意を表した。

渡邊四郎（長岡市）
 石楠（六月）自然と人ともに喜ぶ
 日本（日山）
 行所

◇ 水島 寧村（京城）
 摘み草に汚れし手先洗ふとて夕べの淵針たらしめてゐる月刊中絶に

はのけむる雨のこよひのあたゝか
き夜具をへらして寝むと思ふ
○墨田秋水(京賦)
谷(一七五石滿粒)
△南柯(六月) 鳴雪翁の俳句論、
俳句と品格(秀蘭)をはじめ難詠

勝原はる子（京城）
 少年俳句、側會句、地方會報の多
 いこと天下無比（三十錢東京赤阪
 寓中ノ町七瀬河今辻）

しめゆるタぐれ
八げなき壹支烟はしづかにて向つ
みゆ島のかゝきこゆ

△アリナレ(二の九)吉岡禪寺通
氏を難詠別に置いて以來語面は著
しく緊張した國境唯一の俳句雑誌

▲川柳體語（四體）時事吟に就て（路郎）句になる迄連日莊主人
其他同人近作は集句等（三十餘條）

南柯例會特選句

東京西田登辨先生選
 十八公
 師の柩守る一夜さや明易き 痴山
 二十錢綾早市元町二ノ三七其社
 ▲大阪(六月)百萬石殿下にて、
 金華城の麓より(溪花坊)川柳堂

夜更の明り居ななり人の聲
 舟航繰る現こゝろや明易き
 少一
 大坂川柳社

昨夜やこほのすぢの厚持く
 近なき宿や汽笛に明易き
 旅夜は冷へ心地と明りき
 杉影を流し居て月品し
 山道
 永瀬町の一の水腰製菓株式會社
 永月報（六月）二十號東京麹町區
 水音 仁寺洞二五五皇室中心主義社 八奈見
 永音 仁寺洞二五五皇室中心主義社 八奈見

江口論見る明易さ
 荷桶に月の明易し
 暗く
 蜀風
 鳴星
 繁雲
 郡本山村森中病窓の友發行所
 病窓の友(六月)六鏡兵衛武庫
 ▲かわける緒土(貝谷砂丘氏著)

水や雨雲迫る瓦屋根
水まみれ、樹々の宿り鳥
水の闇に迫る景色
二毛
水音 書店
▲建築の普及(六月) 建築學術州
究の雑誌として他の追従を許さな

市稻垣町東洋之家禽社（六月）二十、
落合帝國工業教育館
南堂
柯千
貴州
重慶

行水や夕明りして庭境
行水や土のしめりの白ふ風
行水やさらしく動く窓の竹
芳香
芳朗
（六月）五十鈴東京廟在岡何の明
一一陽明社▲光（六月）二十
東京牛込區原町三の五三東京堂
（六月）二十
（六月）二十

物の墓窟空を巻て夏木哉
 女一人麥搗き居たり夏木影
 剪剪寝て馬囀きある夏木哉
 二毛
 町二の一〇鈴社▲露亞時報(二
 月)五十錢北滿洲哈爾濱ハルビン
 飛骨
 商品陳列館

[illegible]

人情 心夏木の影を行く 信朗
地 位 人間料理 伊藤銀月 探偵小説
造紙幣 朝島柔吉 滑稽小説 御台
姫の御一發 夢間迷等の外多数の

天皇
明易きものと初めや水の音 帝史

久間町二ノ一八人情俱樂部發行
▲文藝(七月)本誌は他の雜誌と
趣きを異にし青年男女の所有に

雪の影早き地べたのものら 曉洋

烈日の土手を行牛に引いて行く
 さかりの潮の船傾きゆく
 釣戻の鰯も出る小石の白く
 芹郎

鬼角子
 人間味(七月) 安井龍溪の「人間味より見たる對米問題」は刻の中心問題を人間味提唱者として取り扱ふ人々を論じてゐる。

大は夕餓がて森一杯に雀がひらひらと舞ひまわつてゐた。林の小道は、夏のはやの日の草の芽の庭へ

跡を歩みてゐる得能又氏の「現

は等の外各種の記事並に創作

出もあり地方雑誌界隈に見る等

星あかる山路に花火が遠い
ブラタナス茂り男よく眠る
納屋の屋根で柄もぐ瑞れ聞

久部

（人間社）
日本教育（六月）四十錢東京
矢来町四丁目 南郷社 ▲理科等

露路を夫婦が並頭を急いど
 水^{ミヅ}の甘^{アミ}舌^{ゼツ}上^{カミ}踊^{マユ}ら^して^も残^{ノコ}る^{ミヅ}満^{ミツ}川^{カハ}
 五月の風^{イヅノエ}寒^{サムイ}梅^{ウメ}の散^{チリ}見^ミ櫻^{オウゴン}水^{ミヅ}

(六月) 臺灣總督府内務部時報
 行所^{コト}中國の研究^{チノクノケンギョウ}(七月) 三十號
 占^シ辰^{ツク}市^チ中^{チュウ}國^{コク}南^{ナン}武^ブ平^{ヘイ}町^{チヨウ}の一^{イチ}四^シ號
 外^{ガイ}紀^キ市^チ中^{チュウ}國^{コク}英^{エイ}蘭^{ラン}中^{チュウ}町^{チヨウ}(七月)

小井の父國太郎が被差主ならぬと、國島
 桑畑女ならんでくる日暮れ 尖満
 六月晴天下桑畑の女桑こぼす
 東京麹町區内幸一の四へル下
 ムカメラ界(六月)十錢大連市
 娼婦停宿所前カメラ社・佛教堂

運轉の爲め、送る行くに照し、土の
炎大の交通巡査が太に警戒を以て、
官舎若葉に夕刊の鈴が消し
山興水
若宮町三五碧山閣書房
▲國際知識（七月）日本關係
（藤澤利喜太郎）權利の濫用か

低う掛さふんく、時計の吐家
▲次回 七月五日午後七時南米合
同一一中村島宅宅出席歡迎

新刊紹介

▲枯野（新緑特刊號・俳句時論）
▲陰地植物施用苗選栽培の要（
岡山ある（五十錢東京芝公園協
會室内國際聯盟協會）

俳句の主観化（蕉三郎）内藤鳴雪 効剗で昔から登萍な蘆葦である
 輪（祖春）私の観た俳壇（御風） 近頃海外輸出盛んな為め價格も
 か現文壇大家（十餘名）私の自然 上する此の植物は他のものが生

句(宗發)思君遠(みどり女)其
仙難詠題吟各地曾相聞人吟等望
出采るから利益が多い(四十二
鳥根縣許栗町永盛社)

成落集新祝

[illegible]